

事後評価

番 号	21-1	課題名	受精卵移植における胚細胞利用技術の検討
-----	------	-----	---------------------

評点	5	4	3	2	1
目標達成度		4	3		
有効性		5	2		
		5	2		
効率性・妥当性		2	5		
		4	3		
成果の活用・発展性	2	3	2		
総合評価		5	2		

(助言・指摘事項等)

- 既に実用化され、成果が上がっている。長く継続されることを期待する。
- 期待される技術であり、今後、受胎率の目標値を明確にして、実用化に向けて取り組んでいただきたい。
- この技術が、特定の少数の職員のものにとどまらないよう、研修等を通じより多くの関係者に技術供与されることを期待します。
- 国や他機関で類似研究は進行していないのか。単県で実施する必要があったのか。
- 性判別胚の受胎率向上を高めた点が評価されるが、現場普及を視点に従前の人工授精技術と比較した優劣表を再確認することが望ましい。
- 乳牛の雌受精卵供給事業に一部活用されていることで、技術の信頼性が高まっていると評価されるが、普及技術とするためには、さらに、技術の精度向上と標準化をめざした取り組みが必要と考えます。
- 最も効果の高い透明体切開法と超急速ガラス化法の組み合わせを行っていなかった点は残念です。今後、この組み合わせでの受胎率向上研究の進展に期待します。

事後評価

番 号	21-2	課題名	利用性の高い堆肥の供給体制の確立
-----	------	-----	------------------

評点	5	4	3	2	1
目標達成度		2	5		
有効性		3	4		
		5	2		
効率性・妥当性		2	5		
			7		
成果の活用・発展性	1	4	1	1	
総合評価		3	4		

(助言・指摘事項等)

- これまでの取り組みが生かされる！という段階まで来ていると思われま。何らかの予算措置により継続されることを期待します。
- この技術は今日的な諸課題を解決する重要な成果となりうるので期待大。
- 農業試験場との連携は適切である。
- 畜産センターはペレット堆肥のモデル施設をつくり、ペレット堆肥製造に関して試験を実施する必要があったのではないか。
- 実用化に向けて、成分分析のさらなる迅速化とペレット製造コストの削減を期待します。
- 本試験研究の目標の一つに散布労力を軽減し、利用性を高めるとあるが、それには堆肥のペレット化が欠かせないのではないか。しかし、どこで、誰がペレット化するかという、供給体制のデザインがない。生産コストも他機関のデータでの説明であったと記憶しており、再度精査する必要がある。それらを含め、供給体制の確立に向けて取り組んでいただきたい。
- ペレット堆肥の栽培試験が不十分とあるが、堆肥の成分判定、肥効パターン、施肥管理システム等の精度と適用範囲が文章からは判然としないので、明確にすべき。
- 家畜ふん堆肥のペレット化において、「土壌施肥管理システム」による成分調整堆肥の設計と肥料成分の簡易分析の精度を上げることによって、今後の実用化へ発展可能性が高く、有機質資源の循環システムを考える上で期待できる。
- 堆肥の製造まで遡及して、適正有効な堆肥生産の指導と、施肥プロモーションを連結し、事業化(具体的な普及プログラム)が必要で、他の関係機関との機能提案も欲しい。
- 肥料成分分析の簡易化・短縮化を図った点が評価される。将来的には、畜種、副資材、主要な餌などの標準データを入力すれば、肥効成分が判定できるソフトができないか。